

EMPORIO  ARMANI
SWISS MADE

このたびはEmporio Armani Swiss Madeの腕時計をお買い上げいただきありがとうございます。お客様が購入された時計は最高の精密性と耐久性を目指してデザインされ、Emporio Armaniの品質の基準を満たしているすぐれた時計です。スイスで生産されたこの時計は高度な機能を備えており、ラグジュアリーウォッチのすべての要件を満たしています。

お買い上げいただいた新しい腕時計をお使いになるにあたり、正しい使用法およびメンテナンス方法を記したガイドラインを同封しております。

目次

ケアとメンテナンス	144
耐水性	146
ムーブメントの概要	147
ムーブメントの種類	148
インストラクション	
・ 日付きオートマティック3針	150
・ クォーツ2針	151
・ 日付きクォーツ2針サブセカンド	152
・ クォーツGMT	153
・ クォーツクロノグラフ (RONDA 5040.D)	154
・ クォーツクロノグラフ (ETA 251.471)	156
・ クォーツムーンフェイズ表示付きマルチ機能	158

ケアとメンテナンス

時計の設定を変更した際は、耐水性を維持するためにリュウズをしっかりと押し込んでください(必要であれば、ねじ込んでください)。

午後10時から午前2時までの間に日付の変更を行わないでください。

長時間過酷な状況下(例、直射日光の当たる場所、極度に暑いまたは寒い場所)に時計を置いたままにしないでください。

- ・ 極度の暑さによって電池の故障、寿命の消耗を引き起こします。
- ・ 極度の寒さによって時刻のずれが生じます。

湿気のある環境に対応していない限りは、腕時計をそのような状況で使用しないでください。

- ・ バンドの色や形状を維持するために、革のストラップが水分に接触しないようにすることをおすすめします。
- ・ 腕時計が水中にあるときは、機能ボタンやリュウズを操作しないでください。
- ・ 時計の表面に水分や凝固物が現われた場合は、直ちに腕時計の検査を受けてください。水分が内部の電機部品を腐食させるおそれがあります。

大きな衝撃を与えないようにしてください。通常使用での衝撃に耐えられるようにしかこの腕時計は設計されていません。

腕時計を傷つけるおそれのある化学薬品を使用しないでください。

- ・ 強力な化学薬品、溶剤、ガスのある状況で腕時計を装着しないようにしてください。ケース、バンド、その他の部品に変色、劣化、故障が生じるおそれがあります。

強い磁気や静電気のある場所を避けてください。時計の内部構造に障害を与えるおそれがあります。

- ・ 一般的に、お客様がご使用になる時計は、テレビやステレオ機器などの家電製品が発する電磁波の影響を受けることはありません。
- ・ 旅行時に金属探知機に腕時計を通さないでください。

ケアとメンテナンス

腕時計を日頃からこまめにお手入れしてください。

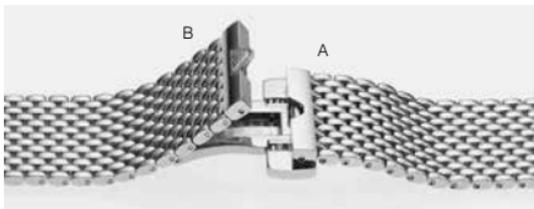
- ・ 金属ブレスレットは柔らかい布と水だけを使用して汚れを拭き取ってください。腕時計を水に浸さないでください。海水での使用後は真水で洗ってから柔らかい乾いた布でふき取ってください。金属ブレスレットを「新品の状態」に保つには、日頃からこまめにお手入れすることをおすすめします。柔らかいブラシを石鹼水に浸けて、ブレスレットの汚れをやさしく拭き取ってください。
- ・ 革のストラップ、繊維のストラップ、ナチュラル素材のストラップは、日光と湿度に長時間曝さないようにしてください。そのような状況に長時間曝した場合、ストラップの変形や変色を引き起こすおそれがあります。また、そのような素材を使用した腕時計を水中で使用することはできません。

定期点検

- ・ 一年か二年に一度お持ちの腕時計の点検を受けられることをおすすめします。定期点検することで長期間故障することなく使用できます。

重要!

Emporio Armani Swiss Made腕時計にはユニークな蝶の留め具が搭載されています。しっかりと閉じられていないと損傷するおそれがあります。鷲のロゴの付いていないバックル(A)の方から先に留めてください。鷲のロゴの付いたバックル(B)は最後に留めます。



耐水性

Emporio Armani Swiss Madeの腕時計は全て、3ATM（100フィート／30メートル）の最小限度の耐水性で設計されています。

腕時計の耐水性は、ほこりや湿気、水に浸かった際に加えらるる損害のリスクからムーブメントを保護します。

それぞれの耐水域に対する耐水限度についてはガイドラインを参照してください。

腕時計が水に接触している最中にリュウズの位置を変更しないでください。水がケース内に入り込んでムーブメントに損害を与えるおそれがあります。

ねじ込み式リュウズがある時計の場合、水に接触する前に、リュウズが適切な位置にあり完全にロックされているか確認することが大切です。

クロノグラフ機能搭載の腕時計の場合、水中でクロノグラフを作動させないでください。水がケース内に入り込んでムーブメントに損害を与えるおそれがあります。

耐水レベル	裏蓋のマーク	推奨される使用法				
						
		手洗い	シャワー・入浴	水泳	シュノーケリング	スキューバダイビング
3 ATM	30M	○	X	X	X	X
5 ATM	50M	○	○	X	X	X
10 ATM	100M	○	○	○	X	X
20 ATM	200M	○	○	○	○	○

ムーブメントの概要



オートマティックムーブメント

この腕時計の機構には振動するローターが含まれており、お客様の腕の動きによって主ぜんまいを巻き上げます。蓄えられる充電量は約44時間です。必要であれば、ウォッチを手動で巻き上げることもできます。当社の他のモデルと同じく、ウォッチムーブメントの内部の美しい構造は、透明な裏蓋から眺めることができます。



クォーツムーブメント

電池の電気によって、ウォッチムーブメント内部のクォーツが1秒あたり約32,000回振動します。高振動数によって高度な精確性が実現されています。秒針は1つずつ進みます。

ムーブメントの種類

オートマティック
3針式 日付表示



クォーツ
2針



クォーツ
2針式 スモールセコンド 日付表示



クォーツ
GMT



ムーブメントの種類

クォーツ
クロノグラフ

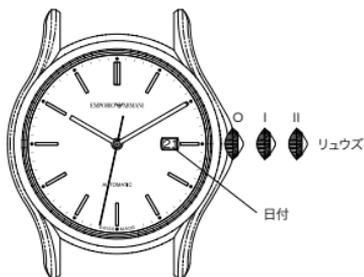


クォーツ
ムーンフェイズ表示付きマルチ機能



オートマティック 3針式 日付表示

(STP 1-11)



巻き上げ

時計を動かすには、0の位置でリュウズを時計回りに30回ほど回してください。

オートマティック腕時計は、お客様の腕の自然な動きから動力を得ています。これが腕時計を巻き上げます。そのため、連続して何日間も腕時計を装着しないと、蓄えた動力を消耗してしまうおそれがあります。もしも腕時計が停止してしまった場合は、リュウズを時計回りに回して手動でムーブメントを巻きあげることで必要な動力を蓄えることができます。完全に巻き上げられた場合、腕時計は約44時間分の動力を蓄えます。

時刻の設定

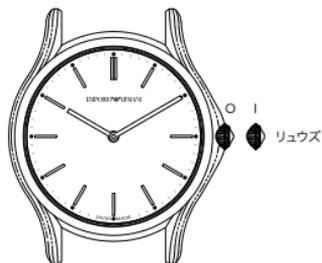
1. リュウズをIIの位置まで引き出します(時計が停止します)。
2. リュウズを回して時針と分針を設定します。
3. リュウズを0の位置に戻します。

日付の設定

1. リュウズをIの位置まで引き出します(時計の動きは継続します)。
2. リュウズを時計回りに回して日付を設定します。
3. リュウズを0の位置に戻します。

2針

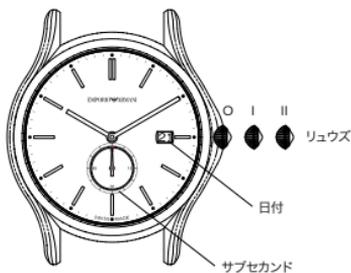
(RONDA 1064)



時刻の設定

1. リュウズをIの位置まで引き出します(時計は停止します)。
2. リュウズを回して時針と分針を設定します。
3. リュウズを0の位置に戻します。

2針式 スモールセコンド 日付表示 (RONDA 1019)



時刻の設定

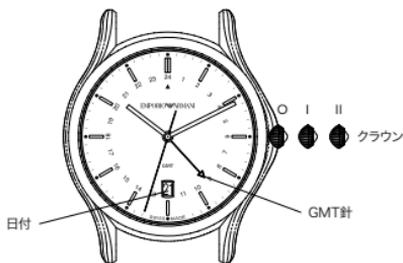
1. リュウズをIIの位置まで引き出します(時計は停止します)。
2. リュウズを回して、時針と分針を設定します。
3. リュウズを0の位置に戻します。

日付の設定

1. リュウズをIの位置まで引き出します((時計の動きは継続します)。
2. リュウズを時計回りに回して、日付を設定します。
3. リュウズを0の位置に戻します。

GMT

(RONDA 515.24H)



時刻／カレンダー設定

1. クラウンをIの位置まで引っ張り出します(時計はそのまま動き続けます)。
2. クラウンを時計回りに巻いて前日の日付に合わせてください。
3. クラウンをIIの位置まで引っ張り出します(時計は停止します)。
4. 今日の日付が変わるまで、クラウンを時計回りに巻きます。クラウンを回し続けて、a.m.またはp.m.を正しく設定します。
5. クラウンをポジション0に戻します。

注: 午後10時から午前2時の間は、日付を変更しないでください。この間はムーブメントが自動日付変更機能の作動するポジションに位置しています。この位置にあるときの干渉はムーブメントにダメージを与える恐れがあります。

GMT設定

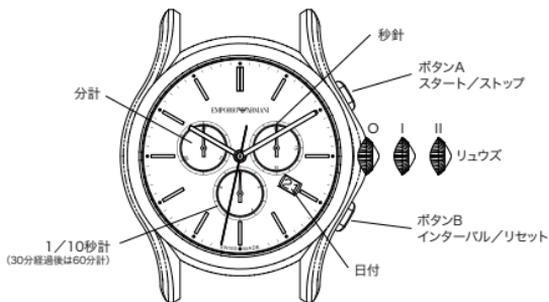
1. クラウンをIの位置まで引っ張り出します(時計はそのまま動き続けます)。
2. クラウンを反時計回りに巻いて第2タイムゾーンを設定します。
3. クラウンをポジション0に戻します。

注: GMTの針は24時間制時刻でダイヤルのセンターゾーンに表示されます。

GMT針はグリニッジ標準時間表示設定または第2タイムゾーンの設定が可能です。

クロノグラフ

(RONDA 5040.D)



時刻と日付の設定

1. リュウズをIの位置まで引き出します(時計は動いたままの状態です)
2. 昨日の日付が現われるまでリュウズを時計回りに回します。
3. リュウズをIIの位置まで引き出します(時計が停止します)。
4. 今日の日付が現われるまでリュウズを回します。
5. リュウズを回し続けて正しい午前・午後の時刻を設定します。
6. リュウズを0の位置に戻します。

クロノグラフ機能

- ・ 1/10秒計が1/10秒単位で時間を計測します。30分経過後は10時間まで計測できます。
- ・ 分計は1回転ごとに30分間を計測します。
- ・ 中央の秒針は1回転ごとに60秒間を計測します。

基本機能

1. Aボタンを押すとクロノグラフをスタート/ストップできます。
2. Bボタンを押すとゼロにリセットします。

クロノグラフ

(RONDA 5040.D)

インターバルタイミング

1. クロノグラフの起動中にBボタンを押します(計測はバックグラウンドで動き続けます)
2. もう一度Bボタンを押すと、現在の計測時間が表示されます。
3. 手順1と2を繰り返してさらにインターバル時間を計測することができます。
4. Aボタンを押すとタイミングの計測を終了します。
5. Bボタンを押すとゼロにリセットします。

クロノグラフの針をゼロの位置に調整

(電池の交換などで)Bボタンを押した後に、クロノグラフの針が正しいゼロの位置にない場合:

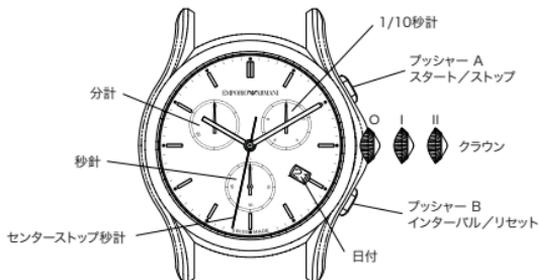
1. リュウズをIIの位置まで引き出します。
2. 中央の秒針が360°回転し終わるまで、AボタンとBボタンを同時に2秒間押し続けます。補正モードが立ち上がります。
3. 中央の秒針を調整するには、Aボタンを押して針を1目盛りずつ動かします。Aボタンを押し続けると早く進ませることができます。
4. Bボタンを押して1/10秒計の針を動かします。Aボタンを押して針を1目盛りずつ動かします。Aボタンを押し続けると早く進ませることができます。
5. Bボタンを押して分計の針を動かします。Aボタンを押して針を1目盛りずつ動かします。Aボタンを押し続けると早く進ませることができます。
6. リュウズを0の位置に戻します。

重要事項!

午後10時から午前2時の間に時刻の設定を変更しないでください。この時間帯はムーブメントが自動的に日付変更を行う状態にあり、手動で動作を行うとムーブメントを損傷するおそれがあります。

クロノグラフ

(ETA 251.471)



時刻と日付の設定

1. クラウンをIの位置まで引っ張り出します(時計はそのまま動き続けます)。
2. 前日の日付が表示されるまで、クラウンを時計回りに回転させます。
3. クラウンをIIの位置まで引っ張り出します(時計は停止します)。
4. 今日の日付が表示されるまで、クラウンを時計回りに回転させます。
5. 正しいam/pm時刻になるまで、クラウンを回し続けます。
6. クラウンをポジション0に戻します。

ストップウォッチ機能

- ・ 1/10秒針計は1/10秒までの時間を計ります。
- ・ 分計は1回転ごとに30分を計ります。
- ・ センターストップ秒計は1回転することにより60秒を計測します。

基本機能

1. Aボタンを押すとストップウォッチを開始/停止できます。
2. Bボタンを押すと、ゼロにリセットできます。

クロノグラフ

(ETA 251.471)

インターバルカウント

1. ストップウォッチの計測中はBボタンを押します(バックグラウンドで計測が継続しています)。
2. Bボタンを再度押すと、計測中の時間を表示できます。
3. 手順1と2を繰り返すと、追加のインターバルを計測できます。
4. Aボタンを押して計測を終わらせます。
5. Bボタンを押すと、ゼロにリセットできます。

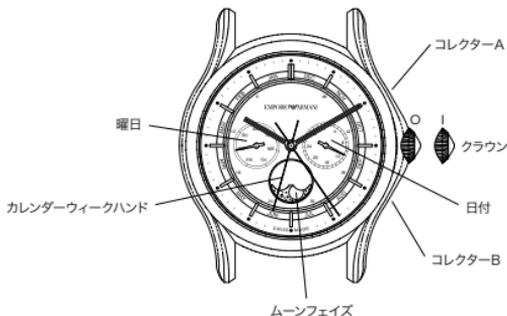
ストップウォッチの針をゼロの位置に調節する

Bボタンを押した後、1本以上のストップウォッチの針が正しいゼロの位置にない場合(例えば、電池の交換後)：

1. クラウンをポジションIまで引き出します。
2. Bボタンを押して分針を1目盛り進めます。Bボタンを長く押すと早送りで行きます。
3. クラウンをポジションIIまで引き出します。
4. Aボタンを押してセンターストップ秒針を1目盛り進めます。Aボタンを長く押すと早送りで行きます。
5. Bボタンを押して1/10秒針計を1目盛り進めます。Bボタンを長く押すと早送りで行きます。
6. クラウンをポジション0に戻します。

ムーンフェイズ表示付きマルチ機能

(RONDA 706.B)



時間、日付、曜日およびムーンフェイズ設定

1. クラウンをIの位置まで引っ張り出します(時計は停止します)。
2. 満月が表示されるまでクラウンを時計回りに回します。
3. クラウンを反時計回りに回し、最後に満月になった日に対応する曜日へ進めます。
満月になった日のチャートを次のページで確認します。
4. Bボタンを押して、最後に満月になった日付を設定します。
5. 日付が現在の日付になるまで、クラウンを反時計回りに回します。正確なa.m./p.m.
時間を設定するためにクラウンを回し続けます。
6. クラウンをポジション0に戻します。

重要: 午後11時30分から午前5時30分の間は、カレンダー機能を設定しないでください。
この間はムーブメントが自動日付変更機能の作動するポジションに位置しています。
この位置にあるときの干渉はムーブメントにダメージを与える恐れがあります。

ムーンフェイズ表示付きマルチ機能

(RONDA 706.B)

カレンダーウィーク設定

Aボタンを押して、カレンダーウィーク表示を1日盛進めます。

日付設定

Bを押して日付を1日進めます。

日付設定

クラウンを反時計周りに回し、現在の日付になるまで曜日を進めます。

ムーンフェイズ表示付きマルチ機能

(RONDA 706.B)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
1月	6日	24日	12日	2日と31日	21日	10日
2月	4日	22日	11日		19日	9日
3月	5日	23日	12日	2日と31日	21日	9日
4月	4日	22日	11日	30日	19日	8日
5月	4日	21日	10日	29日	18日	7日
6月	2日	20日	9日	28日	17日	5日
7月	2日と31日	19日	9日	27日	16日	5日
8月	29日	18日	7日	26日	15日	3日
9月	28日	16日	6日	25日	14日	2日
10月	27日	16日	5日	24日	13日	1日と31日
11月	25日	14日	4日	23日	12日	30日
12月	25日	14日	3日	22日	12日	30日

注: このムーンフェイズダイヤルは月齢を表示するものであり、実際の月の満ち欠けの形を表示するものではありません。月齢は、約29.5日間の各朔望月の周期により判定されます。